

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回碧南警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年5月21日（火） 午後2時から午後4時までの間</p> <p>-----</p> <p>碧南警察署4階 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p>鈴木 孝治 会長                      神谷 弘恵 副会長 新實 エルニ スダルニンシ 委員 石川 彩 委員                      加藤 毅 委員 瀧 由美 委員</p> <p style="text-align: right;">以上6名（定数8名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p>稲垣署長                      中村副署長                      坪井警務課長 近藤会計課長                      田邊生活安全課長 尾崎地域課長                      石川刑事課長                      角谷交通課長 高垣警備課長                      野村高浜幹部交番所長</p> <p style="text-align: right;">以上10名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	暴力団のない碧南市・高浜市の持続のための連携の在り方について
答 申 等 の 概 要	各団体、年齢層に応じた反社会的組織に関する広報啓発活動の推進
そ の 他	次回開催予定日 令和6年8月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	今春の異動で着任した幹部の紹介
4	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況
	(2) 管内の交通事故発生状況
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交番所長説明）
	(1) 諮問事項
	交番・駐在所における住民の要望への対応の在り方
	(2) 答申事項
	ア 警察相談専用電話「#9110」の周知
	イ 弱者への支援・的確な対応
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	110番の日広報等街頭広報
	地域情報誌にて広報
	通常業務を通じて、「#9110」の紹介、管轄機関のアドバ
	イス等
	イ 答申事項イについて
	家族と連絡がとれない通報に対し、事件事故に遭遇の可能性（安否
	確認）のため無事を確認して通報者に状況説明
6	諮問事項等（刑事課長説明）
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(1) 諮問事項	
暴力団のない碧南市・高浜市の持続のための連携の在り方について	
(2) 諮問事項の選定理由	
匿名・流動グループなどSNS等を利用し離合集散を繰り返す集団が、	
特殊詐欺等を広域的に敢行していて、暴力団の資金源となっている可能性	
があり、今後、匿名・流動型犯罪グループとなりうる不良少年等の集団へ	
の加入防止のための働きかけが必要である。	
暴力団事務所などを設置させてしまうと排除するのは大変であり、地域	
に根付かせないようにするため、碧南市・高浜市の実情に沿った市民と警	
察の連携の在り方について御検討願います。	
7 協議	
委員	・ 難しいテーマだと思う。暴力団は日頃の生活に余り関わりない
	こと。
委員	・ 暴力団に目を付けられた場合、警察に相談することが大切だと思う。
委員	・ 祭礼などのいわゆる的屋と暴力団との関係はどのようになっている
	のか。
警察	・ 現在、この地方の露天商組合は暴力団と決別宣言をしている。
委員	・ 暴力団と関わる可能性が高い業務は、飲食業、不動産業、建設業、
	運送業等だと思うが、様々な情報を取り扱うことから、これら団体か
	ら情報収集して、暴力団排除の啓発活動してはどうか。
委員	・ 警察からの説明で、暴力団に対しては資金源を与えないことが重要
	だということが分かった。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	自分たちが暴力団と関わらないよう意識する必要があると思う。
	・ これまでの活動で広報グッズは良いと思うが、アピールしたい事の文字をもっと大きくした方がわかりやすいと思う。
	また、メッセージカードを作って協力してくれるコンビニエンスストアなどのトイレに置き配布するなどしてはどうか。
委員	・ 暴力団が地域に根付かない環境というか暴力団が苦手な街づくりのための施策をしてはどうか。
	目立つように“暴力団お断りシール”を配布するなどすると効果的であると思う。
	・ 幼いころから暴力団はいけないとの広報活動してはどうか。
委員	・ 暴力団は人、モノ、カネに対する対策が必要と分かったが、人に対する施策として年齢層に応じた情報発信活動をしてはどうか。
	・ 匿名、流動型犯罪グループの予備軍になりかねない対策として少年らのたまり場で声掛け活動等をしてはどうか。
	小さな芽のうちから摘み取っておくことが重要だと思う。
	・ 高校生などに対しては、SNSを多く利用しているので、SNSを活用し“うまい話にはのらない”などと広報をしてはどうか。
委員	・ 暴力団が近づいてきた具体的な事例を入れた情報発信の方がわかりやすいと思う。
8	答申
	各団体・年齢層に応じた反社会的組織に関する広報啓発活動の推進
9	その他
	記録者
	警務係長

